



横浜市立本牧小学校

学校だより



令和5年度 4月号

個性やよさを発揮できる「楽校」を目指して

学校長 濱田 哲也

保護者の皆様、お子様のご入学、新学年へのご進級、誠におめでとうございます。子どもたちは、それぞれ新しいステージに上がって、気持ちも新たに希望にあふれていることと思います。令和5年度も教職員一同、力を合わせて一人ひとりの成長を促す取り組みや働きかけを行ってまいります。どうぞ、ご理解とご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、表題に敢えて学校を「楽校」と書きました。これには、学校が子どもにとって楽しい学び舎であってほしいという願ひを込めています。一言で「楽しい」といっても、学校は子どもがやりたいことだけをする場ではないので楽しいことばかりではないかもしれません。でも、敢えて「楽しい」という言葉を使うのは、学校が自分の個性やよさを発揮しながら、自分の成長に喜びを感じられる楽しい場であってほしいからです。学校では、子どもたち一人ひとりが安心して自分の個性やよさが発揮できるように取り組んでいく方向性を教職員と共有しました。ご家庭でもぜひ、お子様の個性やよさを伸ばしていけるように、ポジティブな励ましや賞賛の言葉をかけてあげていただきたいと思います。そうすれば、子どもたちは自分のよさを自覚して自分に自信をもって成長し続けていくことができると考えます。

本牧小学校の学校教育目標は、「みんなで認め合い、学び合い、やりぬく本牧の子」を掲げています。最初の「みんなで認め合い」には、子ども一人ひとりが持つ個性やよさは優劣を超越するものであり、その個性やよさを多様性としてお互いに認め合っていこうとするものです。「学び合い」には、自分とは異なる多様な見方や考え方を持つ他者と学び合うことで、自分の見方や考え方を磨くことにつながります。最後の「やりぬく」には、目の前の立ちはだかる困難にも屈することなく、何度もトライし続けようとするメンタリティーと行動力を身に付けさせていきたいという思いが込められています。

この学校教育目標で掲げる子どもの育成を行っていくために、授業を通しての日々の教科学習はもとより、スポーツフェスティバルや本牧コンサートなどの学校行事、学級活動や委員会・クラブ等の特別活動、宿泊体験活動や修学旅行等の泊を伴う集団行動、校外での音楽活動や体育交流等々、あらゆる教育の場面を通して取り組んでまいります。また校外へ飛び出して本牧のまち探検を行う中で、地域の方々とふれ合う経験をさせていただいたり、施設を利用させていただいたりする経験も子どもたちにとっては社会とつながる貴重な経験と考えています。どうぞ、ご理解とご協力の程、よろしくお願ひします。

最後にコロナに関する活動制限緩和についてふれます。ようやく世の中は日常生活に制限がかけられたコロナ禍の長いトンネルを抜け出し、少しずつ通常を取り戻しつつあるように感じます。マスク着用は周囲の環境や状況に応じて個人の判断に委ねられるようになり、マスクを外して生活される方も少しずつ見受けられるようになりました。しかしながら、それぞれの事情や捉え方が異なっているので、急激に以前の通りに戻るわけにはいかず、まだマスクを着用して慎重に外出されている方も多く見られます。4月から学校でも「マスク着用を求めない」形で教育活動を行ってまいります。引き続き換気を十分行うとともにモニターで換気状況を確認しながら慎重に取り組んでまいります。今後、陽気が暑くなってくるにつれて熱中症の健康被害の方が心配されてくるようになってきます。また、顔を見せたくないためにマスクを外さない傾向は子どもたちにも出ており、表情から相手の気持ちを感じ取る力も弱くなっている懸念が出てきています。学校としては、以上の状況や個々人の事情から、徐々にマスクを外して生活できるようにスライドしていけたらと考えています。ご家庭でも、マスクの着脱についてよく話し合っただけたらと思います。よろしくお願ひいたします。